

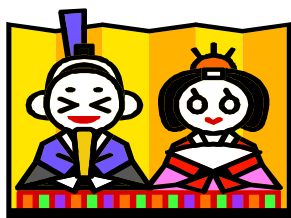
# 社 報



## 組織と個人

### 安全表彰

2005年1月31日に開催されました、鴻池組大阪本店の優良職長の表彰式におきまして、当社からは、ヴィスツール大阪城北作業所から浦谷英次職長が安全優良賞を受賞いたしました。おめでとうございます。ヴィスツール大阪城北の現場は当社の中でも、コスト的にも大きな成果を達成いたしました。これは、浦谷職長の力はもちろん、現場で仕事をした皆さんの力の結集であります。今後も、チームとして大きな成果を期待しております。



もうすぐ「ひな祭り」

桜の頃にはお花見でもやりましょうか？

当社の存在意義は建設を通じて、我々の優位性を証明し、その成果として社会に貢献し、利益・報酬を得ることにあります。当社が他社より優位であるからこそ注文がいただけるわけで、当社が他社よりも優れていないことが証明されれば、注文をいただけなくなります。

これは当たり前なのですが、このあたり前のことがなかなか理解できないのではないのでしょうか。

他社と競争する意味、がどういうことを意味するのか真剣に考える必要があります。

競争は会社という組織単位で行うわけですが、この組織がまた物事をわからなくしています。よく、「うちの会社は……。」とか言われますが、「うちの会社」とはなんなのでしょうか。

会社の所有は株主にあり、経営は会社役員が行い、実際の仕事は従業員が行うのが普通です。では会社とは、なんであるかと言えば、この全体を会社と言うのであります。もっと広く考えれば、当社と取引いただいている、すべての人々を含めて会社と言って良いと思います。

良い組織とは、良い人々の集合体であり、そしてそれが効率的に動いている状態を言うのです。

人々を効率的に動かすのは、経営者の役割です。野球で言えば、監督

のようなものです。

状況や場面に応じて、どこで誰を起用するのかを決定せねばなりません。組織にとっては大変重要な役割です。監督の采配ミスで負けたなんてことは野球ではよくある話です。

野球で言う、選手が従業員にあたるわけですが、いわゆる選手は自分の体力や技術を磨くのは、自己責任として行わねばならないのです。

「うちの会社は……。」などと言う人は、例えて言えば、練習が不足していながら、「俺は自分なりに一生懸命に練習をしている。個人の能力も高く試合に出れば必ず活躍できるが、監督が使ってくれない……。」などと言っているのと同じではないのでしょうか。

他の選手は、もっと練習し鍛錬しているとしたら、そんなことは言っておられないでしょう。

努力は必ず報われるものではありません。しかし、努力しない者は報われることがないのです。そう信じて、努力することが尊いのです。

会社が業績を上げるためには、組織と個人の関係が重要になってきます。この関係は相互依存でなければなりません。企業は人を必要とし、人は企業を必要とする。どちらかが、その価値がないと判断したら、この依存関係は終了します。理想は互いの価値を高めあうところにあるのです。

<http://www.forbuild.co.jp> 当社のウェブサイト(ホームページ)からも社報が読めます！

### 究極のパーマネント工法

昨年12月に有限要素解析のコンピュータソフトを購入しました。これは何をやるソフトかと言うと、コンクリートの発現強度によって、梁スラブの強度を確認するソフトです。これによって、梁下サポートもパーマネント工法が可能になりました。また、スラブについても、総持ち(柱・壁・梁・サポートの影響を総合

的に評価すること)の計算が可能になりました。この計算を行うことによって、梁・スラブ材料の低減が図れます。現在、シンギ大阪・サムティ徳井町の現場で実施中です。今後は採用現場が増えていきますのでご期待ください。

### 安全成績 (H17年)

現場災害 H17.1.1-H17.2.28	
重大災害	----- 0
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
交通災害 H17.1.1-H17.2.28	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0